

## 令和4年度

# 糖尿病合併症学会同時開催、糖尿病大血管障害検証報告会 (Early Detection and Management of Macrovascular Complication of Diabetes)からの宣言 (RW-4-10-22)

### 内保連への健保採用・強化提案 (AからE) , 関連企業 (B,A) への提案

A) 標準 Coolie t (百点程度) 、トレーランGは、非生理的なブドウ糖を3割含み、一過性過血糖起り、嘔気などの副反応有り、血中インスリン値はこのため高イと診断し難い、2hに渡り一定の速度でブドウ糖に転換し難い。Cookie は、小麦粉澱粉75g、15%生理的マルトース含み、2h血糖はほぼ一定し、全身利用率と等しく、75g(SGLUT-2 阻害薬服用者では、2h尿糖量補正)をこの血糖で除し、全身糖クリアランス (GC) 算出可。SGLUT-2 阻害薬服用例では、尿へ糖を排出するため血糖とHbA1cは、Control 基準とはならず、上記全身糖GC (筋・肝も含め) が、最善の基準である。

2hBS200mg/dl以上DM, 140~200; IGTは両者同一。バター脂肪25g含むため、食後高脂血症診断可、病態解析にも貢献。明らかに液状ブドウ糖に比し、臨床的意義高く、健保適応が妥当である。IGTの早期検出と是正は糖尿病対策の最善策であるが、現行OGTTは、DM検出が主眼に査定されている。耐糖能異常・低、高イ血症をイ不全症としてとらえると企業健診でも6-8割が該当し、食後高脂血症も検出され、幅広い適応・実施が現臨床に貢献する。

B) 簡易SSPG法; Reaven 発案、Harano、Ikebuchi 改訂; 内因性イ分泌抑制をエピネフリン・βブロッカーからソマトスタチン或いはサンドスタチンに改良。クランプ法; 空腹時血糖<100mg/dlに固定、人工膵臓で糖注入量を暫増し、2h注入量で筋GC測定(現クランプ法、5千点+人工膵臓必要)。SSPG法; 糖注入量を一定化、2h後の血糖より筋GC評価。1.5千点程度; サンドスタチンの診断薬(現:治療薬)としての申請(ノバルティス社へ勧告、健保適応; 現治療薬と同点数、イも現在治療薬で、検査薬としての申請・承認必要)。同一原理で(分子か分母いずれか固定)実施と理論有利(内因性イ分泌抑制確実、かつ手技簡単、経費格安(IVGTT,追加法として改訂、追加)。GH, グルカゴン分泌も抑制するためイ感受性試験としてより有用。筋での糖利用評価後、イ注入は静注から皮下注とし(x1.5量)、提案AのCookie 食負荷、2h後の血糖より全身GC, 筋GCとの差より肝GC算出。クランプ法では、血糖100mg/dl未滿に固定するため、肝での糖利用評価不可(肝GKのKm;10mM)、明らかに、簡易SSPG法が臓器別GC評価に優れている。

C) 血中インスリン測定(空腹時、食後2h)の健保適応強化(現80点、インスリン受容体異常症検出が主眼 $\geq 30$ ; 空腹時、Control 基準(高・低イ;食前後)指標としては、適応されず削除が多い。低・高イ血症の基準は今年度栄養海前学会で報告(空腹時低イ血症; 3未滿、標準食; 75g糖質、Cookie 負荷2h、9未滿、高イ血症; 各 $\geq 8$ ,  $\geq 21\mu\text{U/ml}$ )イ受容体異常症の診断ではなく、日常の空腹時、食後低・高イ血症の検出は、大変重要で(低イ血症は、血糖・HbA1cの高値で反映)高イ血症検出は大変意義深い、現実は、一部の実施にとどまり、実施例の大半は、健保適応外で削除となる。是非改訂が必要です。

D) 運動療法の健保採用提案、AMP キナーゼ活性化を介し糖利用・脂肪分解促進、当研究会としては新知見有しないが、イ不全症提案との関連で、解消の最善策が、運動習慣であるので、提案する。

E) 入院時栄養指導（現；2回）の入院長期化〔3か月以上〕の場合の回数増加（E3回以上） 食事・栄養指導の質的向上、達成度増高のため。当検証報告会では、食事運動生活習慣をより良くする会；第10回、11月12日実施、を別研究会・協賛として連携開催（年1回）しているが、仕組みとしてイ不全症の解消を強調下に実践、目標達成率を倍増(特に入院時食事指導)すべきである。

#### **糖尿病大血管障害検証報告会(EDMMCD)**

久留米大学医学部内分泌代謝部門 教授(EDMMCD Study 委員長)田尻 祐司,

代表世話人：古屋大祐（淡海医療センター 院長）

総括：原納 優（児盛会生習センター所長、大阪保険医療大学 客員教授、

ニチダン英王研究所 所長、Cookie t 研究会大表世話人）

協賛：公益財団法人健康加齢医学振興財団

Cookie t 研究会、食事運動生活習慣をより良くする会